

報告第1号

平成28年度基礎学力調査結果の概要について

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小中学校（義務教育学校を含む）における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施校数	209校	208校	87校
実施児童生徒数	9,723人	9,729人	10,329人
対象教科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	4,485人	5,054人	2,634人
調査の内容	学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小中学校における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実施校数	68校	32校
実施教員数	1,119人	711人
調査の内容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成28年4月18日(月)

区分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語(40分)	社会(40分)	社会(45分)
	2限	算数(40分)	理科(40分)	理科(45分)
	3限			英語(45分)
質問紙調査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施。			

4 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

項目	小学校第4学年		小学校第6学年		中学校第3学年		
	国語	算数	社会	理科	社会	理科	英語
平均正答数(問)	17.7 /29	14.8 /23	22.7 /31	14.0 /24	21.2 /33	15.1 /32	17.4 /31
平均正答率(%)	61.1	64.3	73.2	58.4	64.3	47.1	56.2
前年度比(%)	-6.6	-7.9	+1.3		+4.9		+2.7

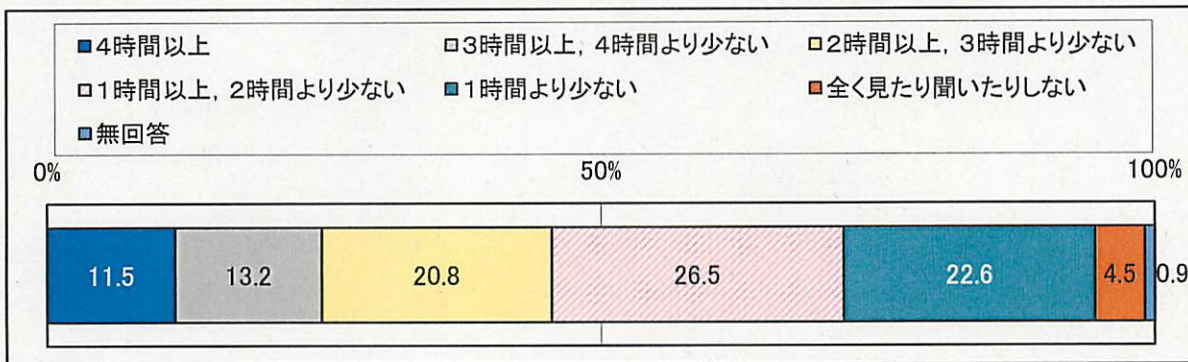
※ 理科は、前年度、全国学力・学習状況調査で実施され、県基礎学力調査では実施していない。

(2) 質問紙調査結果 (抜粋)

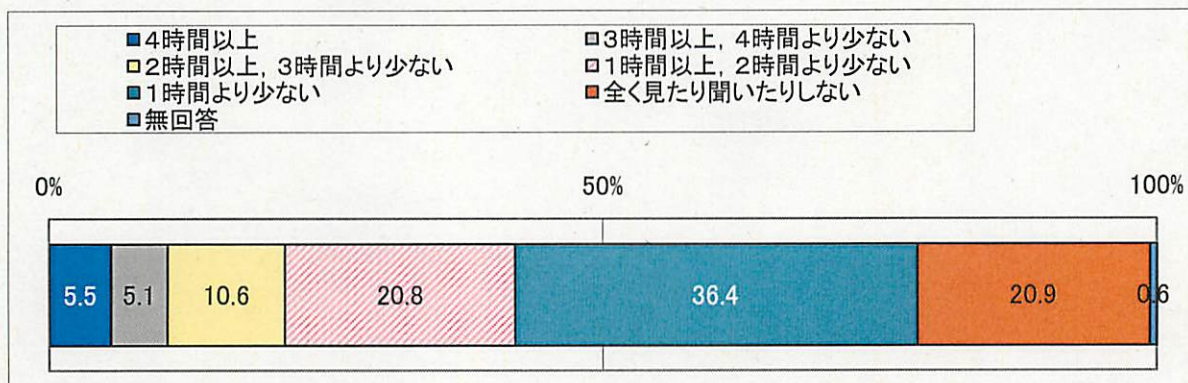
《小学校第4学年》

生活習慣に関すること

- あなたは、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。
(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間はのぞきます。)



- あなたは、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームもふくみます。)をしますか。



《小中学校教員》

教科等に関する指導

- 昨年度から、コンピュータなどを使って、資料を拡大表示したりデジタル教材を活用するなどの工夫をしている。

